

## サステナ経営検定3級第16回試験正答

**問題1** 「サステナブル経営の目的と領域」に関する次の記述のうち、最も不適切なものを一つ選べ。

正答：ウ

ウが不適切。SDGsは、2000年に始まったMDGs(ミレニアム開発目標)の後継である。(10ページ)

公式テキスト:Chapter 1.1 サステナブル経営の目的と領域

**問題2** 「SDGsとサステナビリティ経営」に関する次の記述のうち、最も適切なものを一つ選べ。

正答：イ

ア:SDGsではなく、MDGsについての説明である。(12ページ) ウ:世界的視点から検討した目標を設定し、現状と求められる達成度のギャップを埋めていく手法、が正しい。(13ページ) エ:慈善事業にとどまらず、CSV(共有価値の創造)のように、ビジネスとして収益の確保に取り組むことが重要である。(13ページ)

公式テキスト:Chapter 1.2 SDGsとサステナブル経営

**問題3** 「世界のCSRをめぐる動き」に関する次の記述のうち、最も不適切なものを一つ選べ。

正答：イ

イが不適切。海洋投棄を断念したのは、国際環境NGOの反対運動と消費者の不買運動が続発したためであり、国際法に違反したからではない。(15ページ)

公式テキスト:Chapter 1.3 世界のCSRをめぐる動き

Chapter 2.2 社会における企業の役割はどう変わってきたか

**問題4** 「大企業と中小企業のCSR」に関する次の記述のうち、最も適切なものを一つ選べ。

正答：エ

ア:社会と企業の特徴によって取り組み内容が異なるので、ほかの企業をただ真似ても効果は出ない。(16ページ) イ:特定のターゲットに合わせた取り組みをしやすいのは、地域や得意先などを絞り込みやすい中小企業の方である。(16ページ) ウ:参加型の地域社会貢献など、モチベーションの向上と成果に繋げやすい取り組みは大企業よりも中小企業の方が行いやすい。(17ページ)

公式テキスト:Chapter 1.4 大企業と中小企業のCSR

**問題5** 企業の「コンプライアンス」に関する次の記述のうち、最も不適切なものを一つ選べ。

正答：エ

エが不適切。ISO26000の定義では、組織の社会的責任は、「狭義のコンプライアンス」(法令順守や雇用・納税など)に限定されていない。「広義のコンプライアンス」(社会規範の順守:企業の倫理や社会の倫理に応えるなど)も対象になる。(11, 20, 21, 24, 25, 51ページ)

公式テキスト:Chapter 1.1 CSRの目的と領域

Chapter 1.5 コンプライアンスの本質

Chapter 1.7 ISO26000とは

Chapter 2.4 企業に求められる必要な対話力とは

**問題6** 「GRIスタンダード」に関する次の記述のうち、最も適切なものを一つ選べ。

正答：ウ

公式テキスト：Chapter 1.6 サステナビリティ報告書の役割と現状と課題（22 ページ）

**問題7** 次の文章の空欄に該当する語句のうち、最も適切なものを一つ選べ。

正答：エ

公式テキスト：Chapter 1.7 ISO26000 とは何か

**問題8** 「国連グローバル・コンパクト（UNGC）」に関する次の記述のうち、最も適切なものを一つ選べ。

正答：エ

ア：UNGCは、4分野10原則から構成される。（26 ページ）イ：これはSDGsを説明する内容。（12 ページ）

ウ：報告が義務付けられるのは、2年に1回ではなく毎年。（27 ページ）

公式テキスト：Chapter 1.8 国連グローバル・コンパクトとは何か

**問題9** 江戸時代の思想家・石田梅岩の教えのうち、最も適切な組み合わせを一つ選べ。

正答：イ

公式テキスト：Column 1 伝統的な日本型CSRの精神

**問題10** 地方創生SDGs金融調査・研究会によるガイドラインに基づき、域内企業のSDGsの取り組みを後押しするために自治体を実施している政策のうち、該当しないものを一つ選べ。

正答：ウ

ガイドラインで示されているのは、「宣言」「登録」「認証」である。（31ページ）

公式テキスト：Chapter 1.10 自治体政策、CSRからSDGsへ

**問題11** ビジネスを巡る「地球規模の課題」の歴史と「企業の社会的責任」について、最も適切なものを一つ選べ。

正答：ウ

ア：公害問題は企業に社会的責任を問うきっかけとなった。（34, 35 ページ）イ：企業行動憲章では、社会的責任の認識と社会課題解決への貢献を企業に対して働きかけた。（35 ページ）エ：1990年代以降、NGOやNPOなどの市民社会の活動はむしろ活発化した。（35 ページ）

公式テキスト：Chapter 2.1 企業とは社会においてどんな存在か

**問題12** 「ISO26000」に関する次の文章の空欄に該当する語句として、最も適切な組み合わせを一つ

選べ。

正答：ウ

ISO26000 の「社会的責任」の定義より。(24, 25 ページ)

公式テキスト：Chapter 1.7 ISO26000 とは何か

**問題 13** 「ステークホルダー」に関する次の記述のうち、最も不適切なものを一つ選べ。

正答：ウ

ウが不適切。ステークホルダー・エンゲージメントにおいては、受け身の姿勢だけでなく、必要に応じてステークホルダーに積極的に働きかけることも必要である。(39 ページ)

公式テキスト：Chapter 2.3 企業にとってステークホルダーとは何か

**問題 14** 「企業に求められる必要な対話力」に関する次の記述のうち、最も不適切なものを一つ選べ。

正答：ウ

ウが不適切。法令は、社会環境が急変する時代には適応できず、順守にこだわると大問題を引き起こす可能性がある。対話を通じて唯一絶対の解決策なき問題に対応することが、コンプライアンスの役割である。

(40, 41 ページ)

公式テキスト：Chapter 2.4 企業に求められる必要な対話力とは

**問題 15** 消費者重視の経営における根拠の一つとされる「消費者基本法」が示す「事業主の5つの責務」に該当しないものを一つ選べ。

正答：ウ

安い価格での商品・サービス提供は、事業主の5つの責務に含まれていない。他の2つは「必要な情報を提供すること」「国や自治体の消費者政策に協力すること」である。(43 ページ)

公式テキスト：Chapter 2.5 消費者重視経営とは何か

**問題 16** 「トリプルボトムライン (TBL)」に関する次の記述のうち、最も不適切なものを一つ選べ。

正答：ア

アが不適切。TBL のコンセプトを提唱したのは、ジョン・エルキントン氏である。(46 ページ)

公式テキスト：Chapter 2.6 トリプルボトムラインとは何か

**問題 17** 「企業の社会貢献と寄付」に関する次の記述のうち、最も不適切なものを一つ選べ。

正答：エ

エが不適切。CSR/CSV へと、本業と関連付けて社会貢献を戦略的に考えることが求められてきた。(52 ページ)

公式テキスト：Chapter 2.8 企業の社会貢献と寄付

**問題 18** 「企業と人権」に関する次の記述のうち、最も不適切なものを一つ選べ。

正答：イ

イが不適切。国連「ビジネスと人権に関する指導原則」はソフトローであり、法的拘束力はない。

(21 ページ)

公式テキスト：Chapter 1.5 コンプライアンスの本質

Chapter 2.9 企業と人権

**問題 19** CSR の観点から企業がコンプライアンスに取り組む場合の姿勢として、最も適切なものを一つ選べ。

正答：ウ

ア：法令遵守はコンプライアンスに含まれるが、それのみで、コンプライアンスが達成されるわけではない。

(50, 51 ページ) イ：条例は、その自治体からの要望と捉えることができるので、要求に応じることは、コンプライアンスの範囲に含まれる。(51 ページ) エ：利益よりも社会規範を優先することが、コンプライアンスを達成する近道である。(51 ページ)

公式テキスト：Column 3 法と CSR

**問題 20** 「社会課題と SDGs」に関する次の記述のうち、最も不適切なものを一つ選べ。

正答：ア

アが不適切。人権尊重の責任を負い、人権デューディリジェンスの実施が求められるのは企業である。(54 ページ)

公式テキスト：Chapter 2.7 社会課題と SDGs

Chapter 2.9 企業と人権

**問題 21** 日本の「社会とつながる働き方」に関する次の文章の空欄に該当する語句として、最も適切な組み合わせを一つ選べ。

正答：エ

公式テキスト：Chapter 3.1 真価が問われる「社会とつながる働き方」(58 ページ)

**問題 22** 日本の「NGO/NPO を取り巻く環境」に関する次の記述のうち、最も適切なものを一つ選べ。

正答：イ

ア：NPO 法の施行当初は、法人格を付与することに重きが置かれ、その後、税制優遇制度が創設された。(62 ページ) ウ：海外での取り組みもあるが、生活密着型の活動を行う団体の割合が高くなっている。(63 ページ)

ジ) エ. : さらに市民主体の取り組みが広がると期待できる法律なので、NPO には関係がある。(63 ページ)  
公式テキスト : Chapter 3.2 NGO/NPO とはどんな存在か

**問題 23** 「企業と NPO の協働」について記載した以下の 4 つのうち、最も不適切なものを一つ選べ。

正答 : イ

イが不適切。企業から NPO に賃金や労力を提供するの、チャリティ型の協働である。(65 ページ)

公式テキスト : Chapter 3.3 企業と NPO が協働する意味とは

**問題 24** 「ワーク・ライフ・バランス」に関する次の記述のうち、最も不適切なものを一つ選べ。

正答 : ア

アが不適切。2003 年以降は、男性の社員の育児休業取得にも熱心に取り組むようになった。(66 ページ)

公式テキスト : Chapter 3.4 ワーク・ライフ・バランスとは何か

**問題 25** 「ダイバーシティ&インクルージョン」に関する次の文章の空欄に該当する語句として、最も適切な組み合わせを一つ選べ。

正答 : ア

公式テキスト : Chapter 3.5 ダイバーシティ&インクルージョンとは何か (68 ページ)

**問題 26** 日本の「ダイバーシティ&インクルージョン」に関する次の記述のうち、最も適切なものを一つ選べ。

正答 : ウ

ア : 男女間賃金格差も、先進諸外国での格差と比較して公平とはいえない。(68 ページ) イ : 日本の順位は 146 カ国中 116 位なので、上位ではない。(68 ページ) エ : 努力義務ではなく、法的義務である。(69 ページ)

公式テキスト : Chapter 3.5 ダイバーシティ&インクルージョンとは何か

**問題 27** 「プロボノ」に関する次の記述のうち、最も不適切なものを一つ選べ。

正答 : イ

イが不適切。プロボノは CSR 活動の一環としても注目が高まっている。(70 ページ)

公式テキスト : Column 5 「プロボノ」とは何か

**問題 28** 日本の「SDGs と消費行動」に関する次の文章の空欄に該当する語句として、最も適切な組み合わせを一つ選べ。

正答：エ

公式テキスト：Chapter 3.6 SDGs と消費行動（73 ページ）

**問題 29** 「グローバルな気候変動交渉の動き」に関する次の記述のうち、最も不適切なものを一つ選  
べ。

正答：ウ

ウが不適切。先進国も排出削減が重要であり、対策は十分とはいえない。（77 ページ）

公式テキスト：Chapter 4.1 グローバルな気候変動交渉の動き

**問題 30** 「生物多様性」に関する次の文章の空欄に該当する語句として、最も適切な組み合わせを一  
つ選べ。

正答：イ

公式テキスト：Chapter 4.2 生物多様性

**問題 31** 「世界の貧困と児童労働」に関する次の記述のうち、最も不適切なものを一つ選べ。

正答：ウ

ウが不適切。全体では 63%減少しているが、サブサハラ・アフリカでは 53%増加している。（80 ページ）

公式テキスト：Chapter 4.3 世界の貧困と児童労働

**問題 32** 「エシカルなビジネス」に関する次の記述のうち、最も適切なものを一つ選べ。

正答：ウ

ア：米国ではなく英国に端を発したといわれている。（82 ページ）イ：一般家庭内でのエシカル関連消費も約 6 倍に拡大している。（82, 83 ページ）エ：採択後は「エシカルであることはビジネスの前提」となった。（83 ページ）

公式テキスト：Chapter 4.4 エシカルなビジネス

**問題 33** 「フェアトレード」に関する次の記述のうち、最も不適切なものを一つ選べ。

正答：ア

アが不適切。「フェアトレード最低価格」を定めているのは、国際フェアトレードラベル機構。（85 ページ）

公式テキスト：Chapter 4.5 フェアトレード

**問題 34** 「有機農業」に関する次の文章の空欄に該当する語句として、最も適切な組み合わせを一  
つ選べ。

正答：エ

公式テキスト：Chapter 4.6 オーガニック／有機農業（86 ページ）

**問題 35** 「自然（再生可能）エネルギーと RE100」に関する次の記述のうち、最も不適切なものを一つ選べ。

正答：ア

アが不適切。義務量が低く設定されたため、導入はほとんど進まなかった。（88 ページ）

公式テキスト：Chapter4.7 自然エネルギーと RE100

**問題 36** 日本の「障がい者雇用」に関する次の記述のうち、最も適切なものを一つ選べ。

正答：イ

ア：前年より 3.4%増加して過去最高を更新している。（90 ページ）ウ：身体障がい者、知的障がい者、精神障がい者の 3 区分。（90 ページ）エ：民間企業は 2.3%、国・地方公共団体などは 2.5%で、都道府県などの教育委員会だけが 2.5%である。（90 ページ）

公式テキスト：Chapter 4.8 障がい者雇用

**問題 37** 「ソーシャルビジネス」に関する次の記述のうち、最も不適切なものを一つ選べ。

正答：エ

エが不適切。コミュニティービジネスではなく、CSV(共有価値の創造)である。（93 ページ）

公式テキスト：Chapter 4.9 ソーシャルビジネス

**問題 38** 「海洋プラスチックごみ問題」に関する次の記述のうち、最も不適切なものを一つ選べ。

正答：エ

エが不適切。細分化してマイクロプラスチックになり、全てを回収するのはほぼ不可能である。（94, 95 ページ）

公式テキスト：Chapter 4.10 海洋プラスチックごみ問題

**問題 39** 「アニマルウェルフェア」に関する次の文章の空欄に該当する語句として、最も適切な組み合わせを一つ選べ。

正答：イ

公式テキスト：Chapter 4.11 アニマルウェルフェア（96 ページ）

**問題 40** 「LGBTQ」に関する次の文章の空欄に該当する語句として、最も適切な組み合わせを一つ選べ。

正答：ア

公式テキスト：Chapter 4.12 LGBTQ とは (98, 99 ページ)